

WSDN24 - 世界災害看護学会（詳細は英語のページをご覧ください）

会期: 2024年11月30日～12月1日 (11月29日 WHO 神戸センター共催プレスタディ)

開催地: 神戸市看護大学

テーマ: 「変化するリスク環境における災害看護の再考ー 地球と人々の健康のプライマリ・ヘルスケアからソーシャル・イノベーションへー」

世界災害看護学会（WSDN24）は、世界中の災害看護研究者や専門家を一堂に集め、学際的な対話と議論を促進する国際会議です。本会議では、災害看護の実践を地域社会にどのように応用できるか、そして未来に向けた発展の展望について探求します。地域の知見とグローバルな知識を融合させ、災害リスク軽減に向けた政策提言と実行可能な戦略を形成する場となります。

メインプログラムは、バンコク宣言の7つの誓約に基づき、仙台防災枠組みと連携しながら進められます。これにより、2030年までの進捗を評価し、さらなる行動を提案し、災害看護と健康のレジリエンスに貢献することを目指します。

レジストレーションはこちら

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/66593e0db99af726a276f476

メインセッション- 第1日目 (11月30日 土曜日)

大会長講演

講演者: 神原咲子 (神戸市看護大学)

基調講演「能登から世界へのメッセージ」

講演者: 西垣敦子 (前石川県副知事)

特別講演「災害看護から災害看護へのメッセージ」

講演者: 南裕子 (国際看護師協会 元会長)

セッション1: パネルディスカッション「キャパシティビルディング」

登壇者: アリソン・ハットン (Western Sydney University SWS Nursing & Midwifery Research Alliance) 他

セッション2: パネルディスカッション「リーダーシップ」

登壇者: 蛭間芳樹 (日本政策投資銀行) 他

セッション3: 口演: 「災害現場からの報告」

発表者: Seunyoung Joe 他

セッション4: 口演: 「教育と訓練におけるイノベーション」

発表者: Guy Collins 他

セッション5: 災害における保健システムのレジリエンス

発表者: Miriam Peters 他

主なセッション - 第2日目 (12月1日 日曜日)

セッション6: パネルディスカッション「データ管理と可視化」

登壇者: 花島誠 (国立研究開発法人防災科学技術研究所) 他

セッション7: 概観と政策提言

登壇者: Rajib Shaw (慶應大学) 他

ワークショップ:

災害看護、ヘルスケアのイノベーション、危機管理をテーマにした7つのワークショップが開催されます。

日時: 2024年11月30日～12月1日

ライトニングトーク:

15 のセッションで、150 以上のライトニングトークが行われ、各国の災害研究や実践から得た教訓が共有されます。

日時: 2024 年 11 月 30 日～12 月 1 日

ネットワーキングラウンジ - 「おもてなしとグローバルなつながり」

ネットワーキングラウンジでは、世界中の災害看護研究者や医療専門家が集まり、協力関係を築く機会を提供します。日本の「おもてなし」の心で、茶道、華道、書道などの伝統文化を体験しながら交流を深めることができます。

スケジュール:

- ランチ: 11:30 AM～
 - 休憩: 3:00 PM～
 - 文化体験: 2:00 PM～4:00 PM
 - レセプション: 5:00 PM～
-

プレスタディ - WKC フォーラム@JICA 関西

WHO 神戸センターと共同で開催される WKC フォーラムでは、プラネタリーヘルスやスマートシティ、ウェルビーイングと災害看護の未来について議論します。

日時: 2024 年 11 月 29 日

参加人数: 限定 150 名、オンライン視聴も可能 (学会参加登録+要事前登録)

市民公開ソーシャルプログラム (一般・学生向け 無料エリア)

展示とワークショップ: 災害看護と防災を地域で学ぶ場

神戸市看護大学

防災 x 看護 Meet up!

阪神淡路大震災から 30 年を迎えるにあたり、神戸で世界災害看護学会 (WSDN) 24 が開催されます。このイベントは、災害看護という新たな分野が、阪神淡路大震災を契機に誕生し、研究や教育が進められてきた背景を持つ重要な機会です。今回の学会は、多様な分野の専門家や市民の参加を呼びかけており、災害看護について広く知っていただく場となっています。

災害看護とは?

災害看護は、病院だけではなく、災害時に地域の健康や命を守るための看護活動を指します。緊急事態でのトリアージ (重症者を優先して救急搬送する仕組み)、救急救護だけでなく、避難所での健康管理、人々への精神的ケアなど、多岐にわたるケアが含まれます。災害看護師は、他の専門職と協力しながら、長期的な支援や地域の防災活動に貢献しています。

市民参加型体験プログラム (例)

今回の展示とワークショップでは、一般の方々が楽しみながら学べる体験型プログラムが用意

されています。

(KCCN zone)： 神戸市看護大学

Global Health & Nursing： (まちの保健室)

日本文化との交差点 (WSDN 協力企業)

Nature-based Wellbeing City (エクスカーションインフォメーションブース)

主な内容は以下の通り：

- 「まちの保健室」：看護師による健康相談が気軽に受けられるスペース。
- 「デジタル防災マップ」ワークショップ：親子で楽しくデジタル防災マップを作成できる体験。
- VR 体験：未来の避難所を VR で体験し、災害時の生活を想像してみる。
- スマホ避難訓練：スマホやアプリを活用した避難訓練の方法を学ぶ。
- 持続可能な生活ワークショップ：災害時にも活用できる食や健康の持続可能な生活について考えるワークショップ。

文化展示と知識共有

さらに、阪神淡路大震災後のまちづくりや暮らし、災害現場での活動を紹介する映像や展示も行われます。これまでに培われた地域の防災意識と、災害看護の役割について学べます。神戸は、防災意識が高く、地域のレジリエンス（回復力）が強いまちです。このイベントは、災害の備えについて一般市民の皆さんに知っていただく貴重な機会と捉えています。

日時と場所

エリアは 11 月 30 日（午後）12 時にオープンし、12 月 1 日（午前）12 時まで入れます。神戸市看護大学で開催されます。参加費は無料で、どなたでもご参加いただけます。

どんな人に参加していただきたいか。

神戸に在住しているこどもからおとなまで。

とくに看護に関心のある学生からはたらく看護師の方々に是非ご参加ください。